

第 五 號

七十七歲老嫗

一八七四年（明治七年）五月

1

いままで ぎゅうば ゆ まま あとさき し こと あ
今迄は牛馬と言うは間々あれど 後先知れた事は有るまい

迄今說了很多牛跟馬的事情，但死後生前的事
卻誰也不知道。

2

このたび さき こと この よ し おくで み さわ み
此度は先なる事を此世から 知らして置くで身に障り見よ

這次藉由身上的疾病，在今生就讓你們知道來
世的事情。

3

このよう　いか　ほど　わがみ　おも　かみ　りっぷく　これ　かな
此世は如何程我身思うても　神の立腹此は敵わん

在這世上，儘管你們只想著自己的事情，但是
當神生氣時卻誰也不能匹敵。

4

めえめえ　わがみ　しやん　い　かみ　それぞれ　みわ　や
銘々に我身思案は要らんもの　神が其々見分けするぞ哉

不需要爲自己做打算，神會明白分辨出每個人的
內心。

5

ひと やしき おな く うち かみ ほとけ あ おも
一屋敷同じ暮らしている内に 神も 仏も有ると思えよ

要知道，在同一個屋簷下生活的人心地各異，
有如神與佛之差別。

6

これ み いか もの とくしん ぜん あく わ み
此を見て如何な者でも得心せ 善と惡とを分けて見せるで

看吧，不管誰都好好去領會，要將善與惡區分
出來給你們看。

7

このはなしみないちれつ　しやん　おな　こころ　さら　あ
此話皆一列は思案せよ　同じ心は更に有るまい

這些話世人都好好去想想，沒有人的心和他人的一模一樣。

8

おやこ　ふうふ　なか　きょうだい　みなめえめえ　こころちが
親子でも夫婦の仲も兄弟も　皆銘々に心違うで

親子也好，夫妻也好，還是兄弟姐妹也好，每個人的心都不一樣。

9

せかいじゅう どこ もの ゆ ところ ほこり み さわ つ
世界中何処の者とは言わんでな 心の埃身に障り付く

神不會說「這個人是從世界上哪裡來的」這樣的話，心裡有灰塵時就會生病。

10

み うち なや こと しゃん かみ もた ところ しゃん
身の内の悩む事をば思案して 神に凭れる心思案せ

想想身上令人煩惱的事情，全心依靠神，心裡好好去思量。

11

ど よう むづか こと ゆ 何の様な難し事と言うたとして かみ じゅうようはや み 神の自由早く見せたい

不論是碰到多麼困難的事情，神都希望自由的
神能可以早點施展出來。

12

いままで かみ じゅうよう しんじつ し 今迄は神の自由真実を 知りたる者はさら な 更に無いので

到現在為止，自由自在的真實神能沒有一個人
知道。

13

これ いか むづか やまい ころろ しだい なお な
此からは如何な難し病でも 心次第に治らんで無し

今後不論是多麼難治的病，依從於內心，沒有病是治不好的。

14

しんじつ ころろ かみ う と いか じゅうよう み
真實の心を神が受け取れば 如何な自由して見せるでな

真實之心若為神所接受的話，什麼樣的自由神能都會施展出來給你們看。

15

こらほど かみ しんじつ このはなし そば もの はや さと
此程の神の眞実此話 側なる者は早く悟れよ

神所說的這般眞實的話，在身旁的你們早點去
領會吧！

16

これ はや さと つ なに つ みなこの どうり
此さいか早く悟りが付いたなら 何に就いても皆此道理

如果能早點領悟出來的話，無論任何事情都將
依照此理。

17

きょう まで なによ こと せ 今日迄は何様の事も急かねども もう急き込むで往還の道

到今天為止不管什麼事都未曾著急，但爲了康莊大道，要加快腳步。

18

このみち せかい なみ おも 此道は世界並とは思ふなよ これまつだい こうき はじ 此末代の口記初まり

千萬別以爲這條路與世俗沒有兩樣，這是傳世口記的開端。

19

此^{この}人^{にん}衆^{じゅう}何^{どこ}処^あに有^ゆるとは言^みわ^{うち}ん^{さわ}でな 身^{みな}の内^く障^り皆^く来^るであろ

不要問聖舞人員身在何處，身體有毛病時便都會出現。

20

此^{この}障^{さわ}り手^て引^びき意^い見^{けん}も立^り腹^{つぶく}も 皆^{みな}銘^め々^えに思^し案^{やん}してみよ

這些毛病，是神引，是神在勸告，或是神在生氣？每個人都好好去想想吧。

21

このはなしなん おも き
此話何と思うて聞いている かわい あま くど ことなり
可愛余りて口説く事也

聽了這些話你們有什麼感想？是因爲太愛護子女才反覆地說呀。

22

ど よう いけん りっぷく ゆ これたす さらに ゆ
何の様に意見立腹言うたとして 此救けんと更に言わんで

不論是給什麼樣的勸告，或生多大的氣，神絕不會說「救不了…」之類的話。

23

にんげん わ こ いけん おも み はら た かわい ゆえ
 人間の我が子の意見思て見よ 腹の立つのも可愛故から

想想看，人們在勸告自己子女的時候，就算生氣也是出於愛護子女的緣故。

24

しやん ころろさだ つ こ すえ たの みち あ や
 思案して心定めて随いて来い 末は頼もし道が有るぞ哉

好好想一想吧，下定決它之後再跟隨過來，可以倚靠的路終究會出現。

25

いままで　　こころちが　　あ　　ひ　　き　　みゆる
今迄は心違いは有りたとして　日が来たらんで見許していた

一直到現在，人們的內心雖然有些錯誤，但日子還沒有到來的緣故，神都先允許了。

26

このたび　　なん　　か　　むね　　うち　　そうじ　　みなしょうち
此度は何でも彼でも胸の内　掃除をするで皆承知せよ

但這次無論是任何人，神都要去清掃他們的內心。這點你們都要明白。

27

むね　うち　そうじ　ゆ　かみ　おもわく　ふか　あ
胸の内掃除をすると言うのもな　神の思惑深く有るから

說要去清掃人們的內心，這裡面包含了神深厚的
的思慮。

28

この　そうじ　した　こと　むね　しんじつ　わか　な
此掃除すきやか仕立てせん事に　胸の眞実分り無いから

不早點徹底清掃內心的話，你們就無法明白神
內心真正的想法。

29

此^{この}心^{ころ}真^{しん}から分^{わか}り付^ついたなら 此^{この}世^よ創^{はじ}まり手^てを付^つける也^{なり}

如果能真正地領會神的內心的話，創世聖舞的手勢就會教授給你們。

30

近^{ちか}道^{みち}も欲^{よく}も高^{こう}慢^{まん}無^ない樣^{よう}に 只^{ただ}一^{ひと}筋^{すじ}の本^{ほん}道^{みち}に出^でよ

近道，欲望，驕傲通通都捨去，一心一意走向真正的大道。

31

此道このみちに付ついたるならば何時いつ迄までも 此日本これにっぽんの口記こうきなるの哉や

要是能跟上這條路的話，不論到什麼時候，都會成爲「日本」的口記。

32

日本にほんにも口記こうきが出来た事でけならば 何なんでも唐からを儘ままにする也なり

口記在「日本」流傳開來的話，無論什麼事都要使「唐」依從神意。

33

このよう はじ
此世を創めてからの真実を ま いままで ゆ こと な
未だ今迄は言うた事無し

有關創世以來的真實事情，到目前都還沒有向誰說過。

34

このはなしむずか こと
此話 難し事であるけれど ゆ たれ し
言わずにいれば誰も知らんで

這些事情雖然不容易明白，但如果一直不說出來的話誰也不知道。

35

だんだん どの よ こと ゆ き ころしず しか き なり
段々と何の様な事も言て聞かす 心静めて確と聞く也

不論什麼事情都會一點一點說給你們聽，把心靜下來好好去聽吧。

36

いままで いか ほう ゆ これ ほう き
今迄は如何なる法と言うたとして もう此からは法は効かんで

到現在為止有各種各樣的法術、法力之類的東西，從現在起這些都將要失效了。

37

これまで えださき ほうなぞ おし あ さき み
此迄は枝先にては法等と 教えて有れど先を見ていよ

到目前爲止，在枝節之處雖有法術、法力等的
教導，但看看未來吧。

38

にほん いままでなに し これ さき みち たの
日本には今迄何も知らいでも 此から先の道を楽しゆめ

至今「日本」什麼都還不知道，今後的路途好
好地去期待。

39

ほう たれ おも この よ はじ かみ な こと
法やとて誰がするとは思うなよ 此世創めた神の為す事

別以爲法術、法力是什麼人所施展的，這些都是創世之神所爲。

40

ど よう むづか こと ゆ かみ しんじつ う と
何の様な難し事と言うたとして 神が真実受け取りたなら

不論多麼困難的事情，只要真心爲神所接受的話…

41

いままで から にほん ゆ 今迄は唐や日本と言うたれど これ さき にほん や 此から先は日本ばかり哉

至今雖然說了有關「唐」與「日本」的事情，
但今後只會談論「日本」而已。

42

えださき おお み 枝先は大きに見えてあかんもの かま お さき み 構えば折れる先を見ていよ

看似碩大的枝頭卻很脆弱，一折就斷。看一看
未來吧。

43

もと 元なるは ちい さい 様で ね えら 根が 偉い 何の 様な こと 事も もと し 元を 知る なり 也

這根的部分看似渺小卻很健壯，無論任何事情都要知道其根源啊。

44

ぢつ 術や とて ほう 法が えら 偉い と おも 思う なよ ころ 心の 誠 まこと これ しんじつ 此が 真実

術也好、還是法也好，不要以為有多了不起，真誠之心才是最真實的。

45

人間にんげんはあざないものであるからに 珍めづらし事ことを法ほう等なぞと言ゆう

因爲人的心都很淺薄，看到珍奇之事就以爲是
法術之類的東西。

46

今迄いままでは神かみが現あらわれ出でたとて 未まだ真しん実じつを知しりた者もの無なし

至今神雖已來到人世間，這世界的實情卻還沒
有人知道。

47

此^{この}先^{さき}は何^どの^よ様^{こと}な^{しんじつ}事^をも真^{おし}実^おを^{こと} 教^{おし}えて置^おいた^{こと}事^{こと}であるなら

今後不論是任何事情，只要把真實的事情教導
給你們的話，

48

其^{それ}から^{かみ}は神^{はたら}の働^{なに}き何^かも彼^かも 自^{じゅう}由^よ自^じ在^{ざい}を^みして見^みせるでな

之後無論是任何事，神都會施展出自由自在的
神能給你們看。

49

しんじつ かみ はたら し か せかい いちれつところ す き
眞実の神の働き仕掛けたら 世界一列心澄み切る

眞實的神能一旦開始動工的話，世上所有人的
內心都將徹底澄清。

50

はたら いか こと おも ころ う と しだい かや
働きも如何なる事と思うかな 心受け取り次第返しを

你們以爲神能究竟是怎麼一回事？神接納了眞
心，將祐護「返還」回去。

51

このかや なに こと おも みちのり せんり へだ あ
此返し何の事やと思うかな 道程千里隔て有りても

你們想這「返還」是什麼呢？即便路程有千里之隔，也…

52

このこと なに ゆ おも う と しだい すぐ かや
此事は何を言うても思うても 受け取り次第直に返しを

不論說什麼也好、想什麼也好，神接納之後就會立刻「返還」回去。

53

このかや なん こと おも ぜんあくとも みなかや
此返し何の事やと思うなよ 善惡共に皆返すでな

不要去懷疑「返還」這件事哦，不管善與惡都會「返還」回去呀。

54

よ こと ゆ あ おも そのまますぐ かや ことなり
善き事を言うても悪しき思うても 其儘直に返す事也

不論說善事也好，還是想惡事也好，神都會如實地迅速「返還」。

55

このこと　み　き　い　ち　れ　つ　ど　も　の　み　な　す　わ　た
此事を見え来たならば一列は　何んな者でも皆澄み渡る

這樣的事情出現的時候，世人不論是誰，內心
都會徹底澄清。。

56

き　やう　ひ　な　に　み　な　は　ち　が　つ　み　み　な　み
今日の日は何が見えるや無いけれど　八月を見よ皆見えるでな

今天雖然什麼事情都還沒看見，到八月時便都
會出現。

57

見えるのも何^{なに}の事^{こと}やら知^しれまいな 高^{たか}い山^{やま}から往還^{おうかん}の道^{みち}

但就算看見了，究竟是什麼事卻還是不知道，
是要從「高山」開闢一條康莊大道呀。

58

此^{この}道^{みち}を付^つけ様^{よう}とてに仕^し拵^{こしら}え 側^{そば}なる者^{もの}は何^{なに}も知^しらずに

神爲了開闢這條路在作準備，但身旁的人們卻
什麼也不知道。

59

此^{この}處^{とこ}へ呼^よびに來^くるのも出^でて來^くるも 神^{かみ}の思^{おも}惑^{わく}有^あるからの事^{こと}

來傳喚的也好，還是來巡察的也好，都是出於
神的旨意。

60

其^{その}事^{こと}を何^{なに}も知^しらずに側^{そば}なるは 世^せ界^{かい}並^なみなる事^{こと}を思^{おも}うて

身旁的你們不了解這些，還以為只是一般世俗
的事情。

61

なに せかい なみ おも なに めずら みち あ や
何にても世界並とは思ふなよ 何か珍し道が有るぞ哉

不論任何事都別以爲與世俗一樣，這是條多麼
不可思議的路呀。

62

だんだん この よ はじ ひ た たれ しんじつ し もの な
段々と此世創めて日は経てど 誰か真実知りた者無し

這世界從開始到現在，已經走過了很長的歲月，
但實情卻沒有人知道。

63

如何^{いか}程^{ほど}に神^{かみ}の心^{こころ}は急^せえたとして 皆^{みな}の心^{こころ}は未^まだうっかりと

神的内心是多麼的焦急，但大家的心卻仍無所
警覺。

64

早^{はや}々^{ばや}と思^し案^{やん}してみ^みて急^せき込^こめよ 根^ね掘^える模^も樣^{よう}何^{なん}でして出^でん

快去想想看、加快腳步，爲何還不快去準備，
去挖掘那根源呢？

65

このよう しんじつ ねえ ほ かた し もの さら な
此世の眞実根の掘り方を 知りたる者は更に無いので

挖掘這世界眞實根源的方法，還沒有人知道。

66

このねえ しんじつ ほ こと まことたの みち な
此根を眞実掘りた事ならば 眞頼もし道に成るのに

這根源若是眞實地挖掘出來的話，就會成爲一條眞正可以依靠的道路。

67

このみち ほ き とお ぬ かみしもとも こころいさ
此道を掘り切り通り抜けたなら 上下共に心勇むに

這條路要是徹底掘通、穿越過來的話，上位者及下位者的內心都會踴躍起來。

68

これ なん せかい いちれつ いさ もよう や
此からは何でも世界一列を 勇める模様ばかりするぞ哉

今後無論如何，要讓世界上所有的人內心都踴躍起來。

69

だんだん なにごと にほん し こと な ゆ よ
段々と何事にても日本には 知らん事をは無いと言う様に

神要一點一點教導你們一切事情，使「日本」
變得無所不知。

70

なに か せかいじゅう おし かみ おもわく ふか あ
何も彼も世界中へ教えたい 神の思惑深く有るのに

神懷著深遠的思慮，一切事情都想到世上去教
導。

71

それ し せかいじゅう いちれつ なん あぶ よう おも
其知らず世界中は一系列に 何ど危なき様に思つて

但世上人們卻不明白，還以爲是什麼危險的事。

72

ど よう こと かみ ゆ こと や なん あぶ こと あ や
何の様な事でも神の言う事哉 何の危なき事が有るぞ哉

不管什麼事情都是神說的呀，會有什麼危險
呢？

73

なに か よろず こと だんだん ゆ わか な
何も彼も万の事を段々と 言うていながら分りたる無し

所有事情神都一點一點說出來，但卻沒有人能明白。

74

これ しんじつ むね うち はや す もよう
此からはどうぞ真実胸の内 早く澄まする模様してくれ

今天起，請快爲掃淨內心，確實地來作準備。

75

世界中^{せかいじゅう おお}多く^{ひと}の人であるからに 此^{これ}澄^すますが^{むづか}難^{こと}しい事

世界上有這麼多的人，要掃淨其內心是很困難的事。

76

如何^{いか}程^{ほど}に難^{むづか}し事^{こと}と言^ゆうたとて 我^わが心^{こころ}より真^{しんじつ}実^みを見よ

不管是多麼困難的事也好，用自己的心去看看它真實的一面。

77

此^{この}心^{ころ}澄^すむし^{わか}分^{こと}りた^{こと}事^{そのま}ならば^み 其^{こと}儘^{なり}見^{こと}える^{なり}事^{なり}である也

此心若是澄淨下來、明白道理的話，自然就能夠看見事情。

78

日^に々^にに^か神^みの^{しん}真^{じつ}実^は働^{たら}きを^し 知^しり^{もの}た^{さら}る^あ者^あは^あ更^あに^あ有^ある^あまい

真實的神能日日不間斷，但卻誰也不知道。

79

なに^なにてもかみ^{かみ}のじゆうよ^{じゆうよ}とゆうものはめづら^{めづら}こと^{こと}をし^してみ^みせるでな

不管是任何事情，自由的神能將藉由珍奇之事
顯現給你們看。

80

ど^どのよう^{よう}めづら^{めづら}こと^{こと}とゆうたとしてかみ^{かみ}のする^{する}こと^{こと}な^なこと^{こと}ばかり

不論是多麼不可思議的事情，都是神所做神所
爲。

81

いままで　なによ　こと　し　　ちよと　み　か　ほそ　みちすじ
今迄は何様の事も知れなんだ　一寸見え掛けた細い道筋

直到現在你們什麼事都還不知道，但隱約看見了一條細小的道路。

82

このみち　だんだん　しと　い　　なん　む　み　ほんみち
此道を段々慕い行くなれば　何でも向こに見える本道

若是嚮往著這條路、一步一步走下去的話，前方就會看見一條真正的大道。

83

これまでとおきみちすじからにほんわか
此迄に通^{とお}りて来^きたる道筋^{みちすじ}は 唐^{から}も日本^{にほん}も分^{わか}り無^ないので

至今你們所走過的這條路，究竟是「唐」還是「日本」，尚無區別。

84

このさきなんからゆにほんまためなや
此先^{このさき}は何^{なん}ぼ唐^{から}やと言^ゆうたとて 日本^{にほん}が負^まける例^{ため}し無^ないぞ哉^や

今後不管碰到什麼樣的「唐」，「日本」都不會輸掉。

85

このよう もとはじ ね ほ ちから あ ほ き
此世の元初まりの根を掘らそ 力有るなら掘り切りてみよ

去挖掘看看，這世界元始之初的根源，有力氣的
話試著徹底挖掘看看。

86

このねえ ほ き ど よ もの かな もの な
此根を掘り切りさいかしたるなら 何の様な者も敵う者無し

這根源要是徹底去挖掘的話，不管是誰都沒辦法
與之匹敵。

87

しか き くち ゆ おも どこ ゆ おも
確と聞け口で言うても思うても 何処で言うても思うたるとて

仔細聽好，是用嘴巴說還是由心裡去想，不管
在哪裡說還是在哪裡想，

88

そのまま かや ゆ このこと や かみ しりぞ みなしょうち
其儘に返しと言うは此事哉 神が退く皆承知せよ

神都會依心念「返還」回去。神亦會徹去祐護，
大家都必須明白。